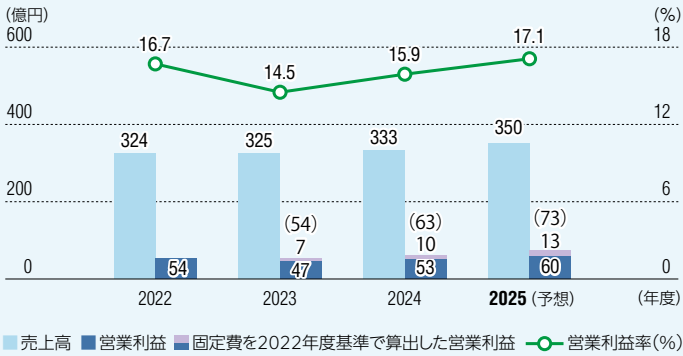


高付加価値製品群の概況

当社グループでは、カーボンニュートラルおよびQOLの向上に貢献する特殊繊維用薬剤、特殊電子部品用薬剤、潤滑油添加剤、永久帯電防止剤、医療・医薬関連製品を高付加価値製品群と位置付け、積極的な設備投資等を行うとともに販売拡大に努めています。想定を超えた事業環境の悪化により、中計2025での高付加価値製品群の2025年度の営業利益目標79億円の達成は難しい状況となりましたが、着実に利益を伸ばしており、今後も国内外で積極的に販売拡大を進めるとともに、新たな高付加価値製品の創出にも取り組んでいきます。

なお、カーボンニュートラルに貢献する製品のCO₂削減貢献の考え方やその他の環境貢献製品を含めた環境貢献製品全体の売上高比率およびQOL貢献製品売上高比率は、サステナビリティサイトに掲載しています。

▶ 高付加価値製品群の売上高／営業利益／営業利益率



高付加価値製品群	(億円)
中期経営計画期間増分目標 (対2022年度比)	+25.0
2022年度実績 vs 2025年度予想	+19.4
中期経営計画2025目標値との差	▲5.6

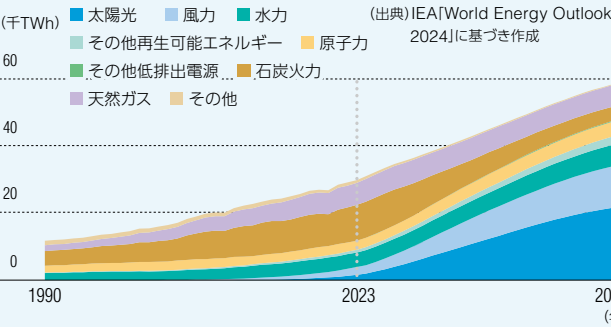
当期の概況と市場予測

2024年度の当社の炭素繊維用薬剤は、中国の新興炭素繊維メーカーの攻勢などもあり、一時的に需要が伸び悩んでいるため、2023年度比では回復したものの想定を下回る業績となりました。一方で、炭素繊維市場全体は風力発電用ブレードや航空機向けで需要が拡大しているほか、次世代エネルギーとして期待されている水素用タンク向けなど用途は拡大しており、引き続き市場の成長が期待されています。

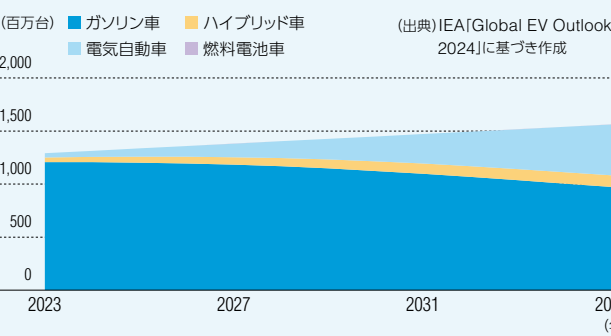
2024年度の当社のアルミ電解コンデンサ用電解液は、生成AI関連の市場が急速に拡大し需要を喚起したものの、EV市場の低迷によって低調に推移しました。一方で、コンデンサ市場全体は、EVをはじめとする自動車の電装化により、運転支援システム回路など車載用電装部品が増えているほか、電子機器の高度化が追い風となっており今後も市場が成長していくものと想定されます。

2024年度の自動車関連産業は認証問題の影響などもありましたが、当社の潤滑油添加剤は、需要拡大もあり売り上げは順調に推移しました。自動車市場は、CO₂排出量削減に向けた電動化が徐々に進み、ガソリン車がEVやPHVに置き換わっていくことが想定され、潤滑油添加剤に関してはさらなる省燃費ニーズに加え、EV駆動機関向けなどの新たな用途も含め今後も堅調に推移していくものと想定されます。

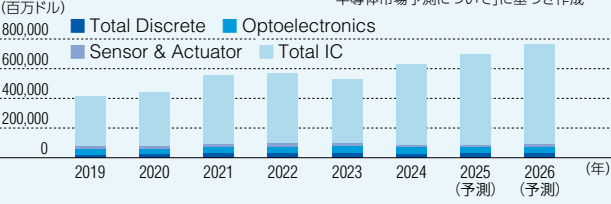
▶ 電力源の将来予測



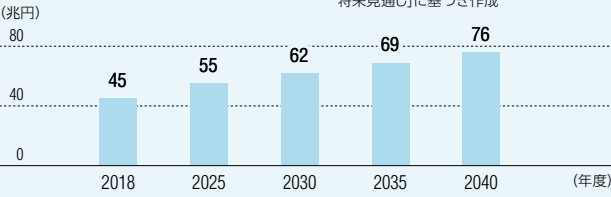
▶ 駆動機関別自動車の将来予測



▶ 半導体市場の予測



▶ 医療費の伸長予測



2024年度の医薬・医療関連製品は、大腸内視鏡検査用途での需要拡大が主な要因となり、好調に推移しました。世界的な高齢化の進展は今後も続くと考えられ、それに伴う健康寿命の延伸を支える医薬・医療関連製品市場は、一層の拡大が予想されています。

カーボンニュートラル貢献製品

特殊繊維用薬剤



特殊繊維用薬剤は、主には炭素繊維用途などがあります。炭素繊維を使用した複合材料は、風力発電、自動車、航空機などのさまざまな用途に実績があり、風力発電用ブレードは、再生可能エネルギーの広がりでも世界的に需要が拡大しています。再生可能エネルギーの活用や産業の発展および気候変動対策としての役割を果たしています。

特殊電子部品用薬剤



特殊電子部品用薬剤の主な用途は、一般的な電子機器から社会インフラを支える重要な電子部品まで幅広く使われるアルミ電解コンデンサ用電解液です。当社のアルミ電解コンデンサ用電解液は、自動車の制御ユニットなど、高い信頼性が求められるコンデンサにも採用されている世界標準のロングラン製品です。

潤滑油添加剤



自動車業界では、電動化の動きと並行してガソリン車の省燃費ニーズが高まっています。燃費向上効果が高い当社の潤滑油添加剤は、ガソリン車、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド(PHV)車のエンジンオイルに採用されており、アフターメンテナンスの交換需要は増大すると想定しています。EVの省燃費化にも貢献できると考えており、EV向けに最適化した潤滑油添加剤の開発にも取り組んでいます。

永久帯電防止剤



永久帯電防止剤は、静電気によるさまざまな障害(電子回路の破壊、電化製品の誤作動、ホコリの付着)や事故(火災、爆発)を防止するために、幅広い用途で利用されています。近年は、半導体用搬送トレイや電子機器・精密部品の包装などを中心とした需要増に加え、防爆用途などの用途拡大も進んでおります。ユニークな高機能製品であることから、新たな用途開発も進めていきます。

医療・医薬関連



主な医療・医薬関連製品は、医薬品用ポリエチレングリコールと中心循環系非吸収性局所止血材です。医薬品用ポリエチレングリコールは、医薬品添加物として軟膏基剤、坐薬基剤、錠剤のコーティング剤に、原薬として腸管洗浄剤に用いられる他、組織再生、細胞培養への展開が進んでいます。中心循環系非吸収性局所止血材は、脳血管を除く血管全体の吻合部の止血材として、血管外科領域の手術で使用するウレタン素材の止血材です。